

ちょっと よしみちライブ

令和3年(2021年)度 後期

お仕事帰りのひとときを、無料ライブでお楽しみください。

会場 きららホール
(船橋市民文化創造館)

JR・東武船橋駅南口、京成船橋駅
徒歩2分 フェイスビル6階
TEL 047-423-7261

※電話あるいは窓口での申し込みが必要です。最新情報は広報ふなばしやHPでお知らせいたします。

開場 Open 17:45 入場無料(要事前申し込み) 定員132名
開演 Start 18:30~(約45分)

特別公演 Open 14:15 入場無料(要事前申し込み) 定員132名
10月2日 Start 15:00~(約60分)

10月のちょっとよしみちライブは特別公演をお贈りします。
曜日と開演時間が異なりますのでご注意ください。

特別公演 令和3年10月2日

**第9回 船橋のたからもの！船橋の郷土芸能
「湊町ばか面踊り」
湊町ばか面踊り保存会**

vol.201 令和3年11月18日

天海
~邦楽ダイバーシティ Live!~

松本 泰子 (ヴォイス)
田辺 領山 (尺八)
丸田 美紀 (箏・十七弦)
山下 由紀子 (打楽器)
和田 啓 (作曲・打楽器)

vol.202 令和3年12月16日

**船橋市所蔵作品展関連企画 美術と音楽の夕べ
~荒井恵子の墨の世界 with 植草ひろみ~**

荒井 恵子 (現代美術家/水墨画家)
植草 ひろみ (チェロ)

※都合により出演者が変わる場合がございます。

主催 きららHall 船橋市民文化創造館

10月のちょっとよしみちライブは特別公演をお贈りします。
曜日と開演時間が異なりますのでご注意ください。

特別公演 令和3年10月2日(土) 申込開始日
14:15開場 15:00開演 9月2日(木)午前10時
**第9回 船橋のたからもの！船橋の郷土芸能
「湊町ばか面踊り」**



湊町ばか面踊り保存会

船橋湊町(漁師町)に代々受け継がれているばか面踊りは、漁師町の夏祭りと共に歩んできました。

江戸時代末期から続く戊辰戦争、明治元年の市川、船橋の戦火により広い範囲で火災が発生し漁師町はことごとく焼き尽くされてしまったと歴史資料に記されております。

それまで漁師町に伝わってきた神輿や山車もすべて焼失してしまい、それからは祭りが行えない時代がしばらく続いたそうです。

すると、疫病の蔓延や不漁に悩まされる年が多くなったと伝え聞いております。

そこで、そのような悪い気を祓おう、お祭りを再興しようとの気運が高まり、厄払いと海上安全、豊漁を祈願し明治33年(西暦1900年)に漁師町、皆で力を合わせ船橋大神宮に神輿を奉納、神輿の先導役として漁師の若衆がばか面踊りを習い覚え夏祭りに奉納し現在まで受け継がれています。

必ず始めに舞う天狐の舞、海の神様の神使いとして山車の四方を祓いお祭りの安全遂行、海上安全、豊漁を願う舞です。

- 「狐」 …………… 場を清める、五穀豊穡、海上安全など、様々な意味を持つ
- 「ひょっとこ」 …… 天候が悪く漁に出られず、口を尖らせながら沖を見ている姿
- 「おかめ」………… 漁に出たお父さんを、いつも笑顔で待ち続けているお母さんの姿
- 「笑い」 …………… 豊漁で笑いが止まらない。このうえない喜びを表している姿
- 「怒り」…………… 不漁で思ったように魚が捕れず怒りながら帰ってくる姿

vol.201 令和3年11月18日(木) 申込開始日 10月22日(金)午前10時

天海
~邦楽ダイバーシティLive!~

邦楽器の魅力を更に世界に発信するために作曲家和田啓が実力ある邦楽家らとともに結成したグループである。ヴォイスとのコラボレーションにより、邦楽器の新たな可能性とポップなメロディを併せ持つ作品作りを行っている。



マツモト タイコ

松本 泰子 (ヴォイス)

1986年UCCジャズヴォーカル新人コンテスト特別賞受賞。ジャンルにとらわれず、日本の童歌・民謡をはじめアラブ古典、そして自らの作詞作曲によるオリジナル等も手掛ける。2002、2004~2010年シェイクスピア作品において欧州8カ国での公演にてヴォイスパフォーマンスを披露し、好評を得る。



タノベ ショウザン

田辺 領山 (尺八)

国際交流基金の主催、助成や政府招待などにより、ローマ法皇「ヨハネパウロⅡ世」謁見演奏、カーネギーホール公演をはじめ海外での演奏も多く、様々なジャンルの国内、海外の演奏家と共演し好評を博している。都山流尺八楽会竹琳軒大師範。長谷校校記念第1回全国邦楽コンクール(1993)で最優秀賞を受賞。



マルタ ミキ

丸田 美紀 (箏・十七弦)

1990年NHK邦楽オーディション合格。同年より二年間米國ウエスレアン大学で客員演奏家として箏曲、地歌三弦の指導を行う。平成6年度文化庁芸術研修員。カーネギーホールにてテリー・ライリー、クロノス・カルテットと共演。

2011年国際交流基金の派遣にて、ベトナム、フィリピン公演。



ヤマシタ ユキコ

山下 由紀子 (打楽器)

国立音楽大学卒業。ポップスからクラシックまで幅広い演奏スタイルで様々なジャンルのパーカッションニストとして活動中。ライブ、スタジオ、舞台演劇など多岐にわたって活動の場を拓いている。自身のグループとしては、マリンパ2台とパーカッションのminimums(ミニマムズ)ピアノとパーカッション227(にーにーなな)がある。

テレビ東京「美の巨人たち」エンディング曲として、227の楽曲「Stars」が使われていた。



ワダ ケイ

和田 啓 (作曲・打楽器)

アラブの打楽器を中心に様々な打楽器を駆使する演奏家であり、作曲家。2009年オランダにて「ノースシージャズフェスティバル」に出演。自身も演奏で参加しつつ作曲した様々な演劇作品で欧州など20数カ国で公演を行う。2019年カーネギーホールにて津軽三味線とコントラバスと打楽器のための楽曲「Tightrope」を作曲、初演演奏し好評を博す。船橋市文化芸術ホール芸術アドバイザー。

vol.202 令和3年12月16日(木) 申込開始日 11月19日(金)午前10時

**船橋市所蔵作品展関連企画 美術と音楽の夕べ
~荒井恵子の墨の世界 with 植草ひろみ~**

現代美術作家・水墨画家の荒井恵子による即興パフォーマンスとチェリストの植草ひろみによる一期一会のコラボレーション!



アライ ケイコ

荒井 恵子 (現代美術家/水墨画家)

現代美術家/水墨画家。東京都生まれ、船橋市在住。2002年東京ワンダーサイトにて個展「耳を澄ませて」を開催。2013年に襖絵《空》と《宙》を制作し、西船橋の宝成寺に奉納する。2017年には福井県の岡太神社・大瀧神社に襖絵《起承転結》を奉納。2019年日本で唯一の水墨画専門の美術館・富山県水墨美術館で個展「いろいろの墨のいろ 荒井恵子と子どもたち」を開催するなど、現代における墨と和紙による表現の可能性を追求している。今年6~7月に葛飾中学校で墨絵を制作する授業を実施。



ウエクス

植草ひろみ (チェロ)

船橋市在住。東京藝術大学卒業。新日本フィルハーモニー交響楽団在籍中にアメリカ留学。10年間のオーケストラ生活を経て、ソリストとしての活動を始める。クラシック、タンゴ、自作のオリジナル曲など多彩なレパートリーと豊かな表現力に定評がある。フランス、クロアチアなどでオリジナル曲を発表し、好評を得た。現在までに7枚のCDと3つのハイレゾ配信アルバムをリリース。現在ラジオ番組「ピースリー・ミュージック」(毎週木曜日13時と21時/ラジオ成田)でレギュラー・パーソナリティを担当するなど、幅広く活動している。

所蔵作品展情報

**「令和3年度船橋市所蔵作品展 荒井恵子 船橋三部作
-宝成寺・三番瀬・玉川-」**

日 時: 令和3年12月7日(火)~19日(日)
会 場: 船橋市民ギャラリー
主 催: 公益財団法人船橋市文化・スポーツ公社

ちょっと よしみちライブ

令和3年(2021年)度 後期

お仕事帰りのひとときを、無料ライブでお楽しみください。

会場 きららホール
(船橋市民文化創造館)

JR・東武船橋駅南口、京成船橋駅
徒歩2分 フェイスビル6階
TEL 047-423-7261

※電話あるいは窓口での申し込みが必要です。最新情報は広報ふなばしやHPでお知らせいたします。

開場 Open 17:45 入場無料(要事前申し込み) 定員132名
開演 Start 18:30~(約45分)

vol.203 令和4年1月20日(木)

∞Super Trinity∞

~三位一体の響き~

KNOB <ディジュリドゥ/石笛/祝詞>

NATA <ディジュリドゥ>

浅野 香 (KAOLY) <和太鼓>

vol.204 令和4年2月17日(木)

6th FMS弾き語りコンテスト優勝者

トモクロウLIVE

~冬の空を見上げながら~

トモクロウ <歌/ギター>

vol.205 令和4年3月17日(木)

ヒーリング・DUO “ロマンス・ノート” ルーム

~サクソ&ギターが奏でる癒しの音空間~

ロマンス・ノート

本間 邦子 <ソプラノ・サクソ / アルト・サクソ>

柳町 正隆 <ギター/歌>



※都合により出演者が変わる場合がございます。

主催 きららHall 船橋市民文化創造館

vol.203 令和4年1月20日(木) 申込開始日 12月17日(金)午前10時

∞Super Trinity∞

~三位一体の響き~



KNOB <ディジュリドゥ/石笛/祝詞>

オーストラリアにて先住民アボリジニの人々の伝統楽器で、世界最古であると云われている自然が作り出した木・ディジュリドゥ(イダキ)に出会う。強い衝撃を受け帰国後、独自にトレーニングを重ねる。

この時期、縄文からの日本古来の石笛の存在を知り、息吹き始める。

一方幼少のころから書に触れ、書家 小野田雪堂に師事。2002年師範となる。現在は北鎌倉(雪堂美術館)を拠点に全国で活動。

茶の湯、能楽の精進を行い、日本人としての精神、文化を自然なる木や石の響きと共に、音の道を歩んでいる。

2007年公開 龍村仁監督のドキュメンタリー映画《地球交響曲第六番》虚空の音の章に出演。

様々なアーティストとのコンサート活動と共に国内外での聖地、神社、仏閣、教会での献奏活動を行なっている。



NATA <ディジュリドゥ>

オーストラリアの先住民アボリジニの聖地アーネムランドで伝統音楽、狩猟文化、宴を体験。そこで学んだ自然との関わり方に共感し、様々な活動を行っている。

北アフリカのチュニジア共和国から招待を受けて日本代表としてパフォーマンスを行う。インドネシア・バリ島にて伝統音楽ジェゴグと共演。台湾でのホールコンサート、マレーシア・ランカウイ島でのリトリートを行う。

日本の土を使い富士山の麓で陶製ディジュリドゥを制作。そのオリジナルの作品がオーストラリアでアボリジニによって演奏される。



浅野 香 (KAOLY) <和太鼓>

1997年、和太鼓バンドGOCOOと、和太鼓道場TAWOOを始動。独自のスタイルと音楽性、精神性で、伝統芸能や郷土芸能の枠を超えた、和太鼓の根源的かつ、新たな境地を開き、GOCOOは世界各国に活動の場を広げる。

EUを中心に、世界五大陸各地の大型フェス等に、音楽のジャンルを超えて招聘され、2020年末時点で延べ40カ国242回のライブを行い、2009年にはNewsweek誌の「世界が尊敬する100人」に選ばれる。一方で日々、太鼓道場TAWOOでの指導を続け、国内外に兄弟道場の縁を広げる。

また、ヨーロッパ太鼓カンファレンス2018、ワールド太鼓カンファレンス2020、UK TAIKO FESTIVAL2019、kaDONアメリカ太鼓リトリート2019等々世界の太鼓界にそのスタイルとスピリットを伝えている。

2020年にアメリカで開催されたHERbeatコンサートでは、日本を代表する女性太鼓奏者として出演し、2021年に公開される映画HERbeatでも取り上げられている。

vol.204 令和4年2月17日(木) 申込開始日 1月21日(金)午前10時

6th FMS弾き語りコンテスト優勝者 トモクロウLIVE

~冬の空を見上げながら~



トモクロウ <歌/ギター>

アメリカのシンガー・ソングライター“シェリル・クロウ”をこよなく愛する、福岡出身・声と魂の歌うたい。現在はライブ活動の他に、不定期で老人ホームや養護施設への慰問ライブを行うなど、老若男女・室内・室外・県内・県外を問わず活動中。心に寄り添う音楽は、多くの人の心に訴えかける。見た目は小さく、腰も低い体からは想像もつかない、力強くどこまでも真っ直ぐ伸びる歌声が印象的。日常を背伸びせず切り取った等身大の歌詞に加え、そのメロディーラインからは洋楽の影響が伺える。

2012年8月にはオリジナル・フルアルバム『My Favorite Songs』をリリース。(プロデューサーにDr.HB氏、豪華ゲストミュージシャンを迎え、多彩なアレンジで制作されたバンドアンサンブル作品)

また2016年にはEPシングル『Back to the Past song』をリリース。(エンジニアに井淵将良を迎え、アコースティックギター1本、ライブ・レコーディング形式で吹き込まれた作品)

2019年10月に開催された「第6回 船橋ミュージックストリート」では“弾き語りコンテスト”にて優勝。現在までに楽曲リリースのほか、オリジナルPVならび、宮崎・高千穂酒造とのコラボPV(YouTube)も発表する。

現在は各配信サイトから、音源配信! 詳しくはカタカナ5文字【トモクロウ】HPまで。

<https://tomocrow.jimdofree.com/>



vol.205 令和4年3月17日(木) 申込開始日 2月18日(金)午前10時

ヒーリング・DUO “ロマンス・ノート” ルーム

~サクソ&ギターが奏でる癒しの音空間~



ロマンス・ノート

本間 邦子

<ソプラノ・サクソ / アルト・サクソ>

静岡県出身。中学時代にアルト・サクソに触れ、以後クラシックを彦坂真一郎、加藤くるみ両氏に、ジャズを今村英敏、緑川英徳両氏に師事。ディナーショーはじめ独自の伴奏システムで数多くの演奏を行ってきた。演奏ジャンルは、クラシックからPOPS、ジャズまで幅広い。また、平成15年から千葉の京成ホテル「ミラマーレ」の「トワイライト・コンサート」にレギュラーとして出演。情感あふれる演奏にファンが多い。カルチャー教室講師、自らのサクソ・レッスン教室主宰、そして平成28年からギターの本間とDUO“ロマンス・ノート”で積極的な活動を続けている。

柳町 正隆 <ギター/歌>

茨城県出身、船橋市在住。中学生の時プラスバンドで音楽に開眼し、ギターを独学で始める。高校から大学を経て社会人までバンド活動を続けながら、様々な音楽性と技術を習得する。自己のリサイタルを4回開催、またアンサンブルも得意で色々な楽器と組んで、地元船橋の公民館をはじめ様々な場所で演奏を行っている。また、作曲編曲も行い、ビートルズなどの往年のポップスの名曲へのギター編曲も多い。クラシックギターを小山勝に師事。ギター教室「Etudeギター研究所」主宰。(公)日本ギター連盟正会員。

